

各部からの報告

総務部

総務部長 平井 由紀子

○区長との懇談会

日時 令和7年12月22日13時

場所 区役所会議室

出席者 21名

○新年懇親会

日時 令和8年1月23日18時

場所 東京大神宮マツヤサロン

出席者 23名

研修部

研修部長 小林 泰夫

○宿泊研修

日時 令和7年11月18日～19日

内容 萩山実務学校の施設見学等

出席者 19名

幹事 麹町地区

○第Ⅱ期定例研修

テーマ 面接結果の記録化について

日時 令和7年11月13日14時

場所 かがやきプラザ研修室1・2

○準定例研修

テーマ 薬物関連問題を持つ人を支える

とは

日時 令和7年12月22日14時

場所 区役所会議室

○特別研修

テーマ 拘禁刑創設と刑事施設における

処遇について

日時 令和8年1月27日13時半

場所 東京保護観察所集団処遇室

○第Ⅲ期定例研修（予定）

テーマ 4号保護観察対象者の処遇について

日時

令和8年2月16日14時

場所 千代田会館10階研修室

地域活動部

地域活動部長 中村 匠

○反省会

日時 令和7年12月1日18時

広報部

広報部長 柿内 健介

○部会開催

日時 令和7年12月3日14時 打合せ

8年1月8日14時 第一回校正

1月20日14時 第二回校正

1月29日14時 第一稿確認

2月6日14時 第二稿確認

編集後記

昨春秋に就任した日本初の女性内閣総理大臣の所信表明演説に、再犯防止のために重要な保護司について、安全確保策の充実を図るなど制度の持続可能性を高めるための措置を講じるとの言及がありました。これまで、保護司の立場は秘匿性が高く、曖昧な部分もありましたが、今後はより多くの方々に保護司の存在を知っていただくため、認知度向上に向けた啓蒙活動の必要性を強く感じました。

千代田区の保護司は多方面にわたり地域に精通しており、「社会を明るくする運動」等の地域活動についても、会報千代田よりお知らせすることができたと思います。

また、もうひとつの重要な更生支援活動として、各保護司が日々地道に研鑽を積み重ね、アイデンティティを生かした立ち直り支援に取り組んでいます。そうした保護司一人ひとりの意識や熱意を、今後もお伝えしていければと感じています。（土島）

広報部（順不同）

部長 柿内 健介

副部長 土島 豊裕 安田 郁子

瀬谷 達郎 熊倉 章洋 井上 優美子

堀田 健二 小笠原 正 堤 美代子

縣 裕久

発行人 千代田区保護司会会長

編集人 千代田区保護司会広報部

連絡先 千代田区九段南一ノ二ノ一

千代田区役所福祉総務課厚生係

年2回・一三〇〇部発行

新年を迎えて

千代田区保護司会会長 藤田 義一



皆様には明るい新年を迎えられた事、お慶び申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

一昨年のブロック研修で取り上げられたテーマ「社会を明るくする運動について考える」でそれまでごく自然に参加してきた社明運動の意味や保護司について考えさせられました。本年度のブロック研修でも同様のテーマでさらに深く考えさせられ、更生保護活動と同様に地域活動の重要性について認識しました。

千代田区では社会を明るくする運動推進委員会を中心に、当会や更生保護女性会が率先してお手伝いをし、駅頭広報・ミニ集会・パレード等のイベントも盛況のうちに執り行われました。

「安全安心な街」を目指すために、各保護司の活動や保護司会の活動を私たちが十分理解し、犯罪のない社会をどの様に作っていかばいいか、一般の方に私たちの活動をどの様に理解していただけるか、今後の活動を充実させていく所存です。

千代田区社会福祉協議会主催の「ふれあい福祉まつり」に初めて参加し、多くの区民の皆様とふれあいお話をして、保護司について語れたことは大きな前進だったと思います。

本年も千代田区・教育委員会を通じて区内小中学校及び中等教育学校・各警察署と密接に協力し犯罪のないまち千代田に向けて頑張っていきたいと思います。



千代田区保護司会会報
令和8年2月20日
第97号
発行人 藤田 義一
編集人 広報部

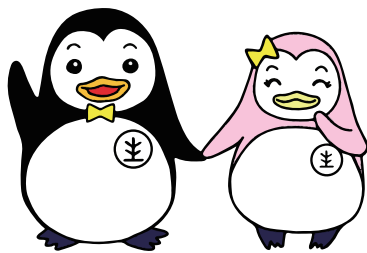


■東京桐友会総会の集い開かれる
千代田桐友会会長 小松 一枝

例年通り、令和7年10月23日午後2時より四谷駅前スクワール麹町「錦華の間」で盛大に催されました。

金井東京桐友会会長の挨拶に始まり、来賓の紹介、功労者の紹介と退任理事の発表に続き、白寿と米寿会員のお祝いがありました。余興として、配布された歌詞カードによる若かりし頃の歌を皆で歌い、楽しみました。

声楽やピアノ演奏もあり和やかなうちに、来年お互いに元気で再会を約束して閉会となりました。



■退任のあいさつ
岸 啓子

両親も保護司をしていたためか、地元の保護司の先輩から度重なるお誘いを受け、正直なところあまり気が進まないまま始めた保護司活動でした。

しかし、フイリピン研修旅行にも参加させていただき、続いて東京で行われた「世界保護観察会議」では、各国の方をお招きし、お話しを伺う機会にも恵まれました。

また、対象者の方に最後の面接で「お世話になった方を裏切るようなことをしませんが」と言われた言葉は、今でも心に残っています。

なにより気さくな先輩方や楽しいお仲間との様々な活動や経験は、本当にかけがえのない時間でした。一抹の寂しさと共に、千代田区保護司会の皆様やお世話になった方々に、心から感謝を申し上げます。

■藍綬褒章を受章して
堀田 健二

本年度の秋の褒章において、藍綬褒章を受章いたしました。

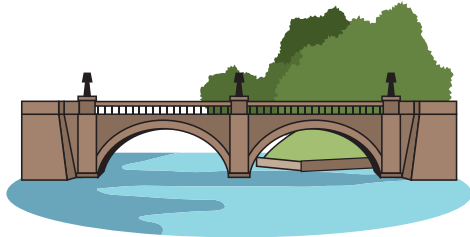
平成16年5月、58才の時に保護司を拝命致しました。就任時「堀田君は年齢的に勲章は無理だな」と先輩保護司の方に言われ、勲章・褒章には縁が無いものと思っていましたので、観察所より内示の電話を頂いた時は少し驚きましたが、名誉な事としてお受け致しました。この受賞は保護司会の皆様や、陰で支えてくださった事務局の皆様のおかげだと、感謝しております。

生まれて初めてのモーニング姿で向かった法務省での伝達式には、全国の保護司をはじめ更生保護関係者130名程の受章者が参加、式後、胸に褒章を付けてバスで皇居へと向かいました。

宮中に参内後、「春秋の間」にて天皇陛下に拝謁。間近で陛下よりねぎらいの御言葉を頂きました。

私の保護司の任期もあと半年程になりましたが、この受賞に恥じないよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い致します。



千代田区更生保護女性会

活動報告

麹町地区 大串 宣代

麹町地区の更生保護女性会の活動の一つとして、子育て部会のメンバーによる月1回の児童館活動があります。子育て広場でのお子さんやママたちとのふれあい、児童館のお手伝い等を長年しています。

そして大きな取り組みとして、「社会を明るくする運動」があります。年1回の運動は、更生保護女性会を含む10団体による麹町小学校から上智大学までの麹町大通りをパレードします。

スタートは麹町小学校の「サンシャインキッズ」の澄んだ合唱。そして、いよいよパレードは出発します。トップは珍しいバグパイプを有した企業の吹奏楽団、そのあとを保護司会・更生保護女性会、麹町少年消防団・交通少年団、少年野球クラブ、バントントワラー等各種団体が続きます。

吹奏楽団の演奏の音がビル街に響き渡り、沿道には人々が出てきてくださいます。女性会のメンバーが啓蒙品を笑顔で配布する中、笑顔で受け取ってくださる光景は、女性会のメンバーの日頃から大切にしている地域とのつながりを感じる瞬間でもあります。

これからも様々な活動を通して地域の安

■ふれあい福祉まつり
中村 匠

開催日 令和7年10月11日
場所 千代田区役所会議室

今回で23回目となる「ふれあい福祉まつり」が10月11日(土)に開催され、千代田区保護司会として初めて参加をしました。初参加で勝手のわからぬままに7月26日の説明会では来場者との「交流」が求められました。当初の展示ブース構想では、更生保護に関する大型モニターによる動画再生とパネル展示といった内容でしたが、それらに加えて、解くことで更生保護への関心と理解を深めてもらえるクイズを作成し、来場者にもその場で解答してもらうことにしました。

当日は、会場の区役所及びかがやきプラザには60もの団体が出展しており、当保護司会は区役所4階のエレベーターに近い入口脇の好条件な場所にブースを構え、地域活動部員6名を中心に配布物400セットの袋詰めをし、10時過ぎからの開場を待ちました。雨天にも拘わらず、名もの来場者があり、終了の14時30分までにクイズは323名の方々に解いていただけ、解答者のご家族も



全・安心を守る活動を続けてまいりたいと思っています。

子育て支援

神田公園地区 小松 恵子

更生保護女性会は毎月、各地区で1回子育て支援の活動をしております。

神田公園地区も月1回2名で西神田児童センターへお手伝いに通っております。乳児、幼児の世話は出来ませんが、その時期で違いますが、折り紙で鶴を折ったり、えんぴつやマジックを描えたり、ボール紙に円を描いて切り取ったり、小引き出しの片づけをしたり、ボール紙にアルミホイルをはったり、その時々に応じてお手伝いをしております。

秋には西神田児童センターの「にじまつり」に毎年招待いただいております。

その時は乳児、幼児の元気な様子を見て、うれしく思います。

これから活動をしていきたいと思っています。





含め、配布物も全て配り終えることができました。クイズを解きながら言葉を交わし、更生保護への理解を深めてもらえる良い機会となりました。

尚、準備段階から当日の設営まで、事務局の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。

友人と情報を共有することが被害防止につながるということです。

生活安全課の伊東さん・渡部さんからは、来訪者による万引きが増えており、店舗でも対策が進められ、違反があれば行政処分や検挙も行われているとの報告がありました。

外国人犯罪について保護司から質問があり、一定数あるものの、観光客増加に比べて件数は多くなく、悪質な事案には厳正に対処しており、中国語・英語対応が可能な職員や、本庁からの通訳派遣体制も整っているとのことでした。

警察から詳しい情報が伺え、大変有意義な懇談会になりました。

令和7年度保護司宿泊研修

開催日 令和7年11月18日～11月19日
場所 都立萩山実務学校

本年は、東村山市において、保護司16名、区役所から3名が参加し宿泊研修を実施いたしました。初日は、鎌倉時代に日蓮聖人により開かれた日蓮宗総本山である身延山久遠寺を参拝し、山頂で富士山を拝んだ後、湯の奥金山博物館にて砂金採り体験をし、宿泊研修ならではの親睦を図りました。

二日目は、紅葉が見ごろの昭和記念公園を散策の後、一路、研修先である「東京都立萩山実務学校」に向かいました。

萩山実務学校は、不良行為をなし、又は

なすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を対象とした施設です（施設事業概要抜粋）。約三千坪という広大な敷地に、野球場、サッカー場を備え、18教室の校舎をはじめ、10棟の寮、体育館、プール棟、調理棟など計37棟と充実の施設が備わっております。

年間行事に関しましても、勉強は元より、みんなで力を合わせて行うカリキュラムが多く、また、印象に残ったお話として、児童全員の誕生日には食べたいもののリクエストに応えたメニューを提供するなど、学校の思いやりある支援体制が伺えました。

何より先生方スタッフの生徒に対する熱意を感じ、理想的な自立支援を実感することができ充実した研修となりました。



麹町大通りパレード

植田 浩敏

前日の雨も夜半には上がり「第75回社会を明るくする運動・第21回麹町大通りパレード」を開催することができました。

まず、麹町小学校で開会式を行い、「麹町小学校サンシャインキッズ」の合唱が披露され、田村校長、社会を明るくする運動千代田区推進委員会委員長である樋口区長、麹町警察署占部署長の挨拶につづき、来賓紹介が行われ、麹町大通りに向かいました。

パレードは白バイ隊に先導され、お揃いの衣装に身を包んだ「千修吹奏楽団」の明るい演奏のもと、区長はじめ各団体代表者の持つ社明横断幕につづき、保護司会・更生保護女性会・各町会の方々や社会福祉協議会、交通少年団・消防少年団・富士見少年野球クラブ・麹町ドリムス・麹町小サンシャインキッズ・

ROSYバントントワラーズと保護者の方々約400名が参加し、社明の啓発物品を配布しながら麹町大通りを上智大学まで行進しました。多くの皆様のご参加に感謝いたします。



準定例研修

西村 京子

開催日 令和7年12月22日
場所 千代田区役所会議室

今年度の準定例研修は国立精神・神経医療センター精神保健研究所 薬物依存研究部の喜多村真紀氏を講師にお迎えして「薬物関連問題を持つ人を支えるとは―「安全な人」として支援する」をテーマに講演していただきました。

近年、薬物事犯による検挙数は増加傾向にあり、特に大麻事犯の検挙人員が依然として高い水準で推移し、若年層への乱用拡大が懸念されています。薬物依存に陥る分岐点とは？ 周囲から守られる環境にあり、自分を守る方法を習う機会があったなら、安全を確保する術を体得し進む道が違っていったのかもしれない。



今回の研修を受け、安全と安心の違いを再認識し、先ず私自身が「安全な人」として対象者と信頼関係を結ぶことができるように取り組みたいと思いました。

靖国通りパレード

柿内 健介

開催当日は柔らかな日差しが心地良い小春日和となりました。今年度もお茶の水小学校5・6年生によるマーチングバンドのリハーサル演奏に導かれるように参加者は校庭に集まりました。

出発式では樋口区長や伊藤校長をはじめ各協力団体代表者のご挨拶に始まり、マーチングバンド演奏の様子を真剣に見つめる下級生の応援に後押しされ、靖国通りへ移動しました。

沿道では地域の方やお茶の水小学校児童保護会の方々の熱い声援に包まれ、子どもたちは元気に演奏ができました。また、明治大学応援団バトン・チアリーディング部にもご参加いただきました。

神田警察署のご協力で安全に区役所までパレードを行うことができました。犯罪のない社会、犯罪を繰り返さない明るい社会を作ろうという本来の目的に繋がるイベントとなり、しっかりと地域にPRできたと考えています。



令和7年度
東京更生保護事業関係者顕彰式典

開催日 令和7年11月21日
場 所 きゅりあん大ホール

秋の褒章 藍綬褒章
堀田 健二氏
全国保護司連盟理事長表彰
中村 匠氏

関東地方更生保護委員会委員長表彰

岸 啓子氏 上谷 さくら氏

井上 優美子氏 土島 豊裕氏

湯本 友美氏

関東地方保護司連盟会長表彰

熊倉 章洋氏 西村 京子氏

東京保護観察所長表彰

安田 郁子氏

東京都保護司会連合会会長表彰

唐澤 俊一郎氏 鈴木 望氏

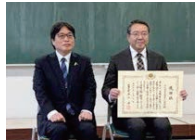
第75回「社会を明るくする運動」
における民間協力者感謝状受賞

「社会を明るくする運動」

において協力顕著な団体に対し
感謝状が贈呈されました。

○法務大臣感謝状

千代田区立昌平小学校



(左から)
東京保護観察所 杉山弘晃 所長
昌平小学校 浅岡寿郎 校長

第75回「社会を明るくする運動」
作文コンテスト表彰

東京都推進委員会の作文コンテストで、
千代田区から優秀賞に選ばれました。

○東京保護観察所長賞

お茶の水小学校5年 T・S

「地域の力を感じた瞬間」

・更生ボランティアの日のライトアップ
について

以上について資料をお持ち頂いての説明
をいただきました。また、先日のTOKY
O M Xの討論番組での話も伺うことがで
き、有意義な意見交換となりました。

麹町警察署との懇談会

開催日 令和7年11月20日
場 所 麹町警察署

安田 郁子

宿泊研修翌日、署内会議室で懇談会を実
施しました。署から4名、民生児童委員か
ら2名、保護司会からは藤田会長と麹町富
士見地区の保護司6名が出席しました。

占部署長から、交通死亡事故は減ってい
るものの、特殊詐欺被害は相変わらず多く
発生している現状を伺いました。藤田会長
からは、駅頭広報、ミニ集会及び麹町パレ
ードへの協力に感謝の意が示され、保護観察
活動の現状報告がなされました。本年初参
加となる「ふれあい福祉まつり」は有意義
だったことも伝えられ

ました。また、前日に
訪問した萩山実務学校
での子どもたちへの手
厚い支援が行われてい
たことその他、実際に会
長宛てに警察を偽って
かかってきた詐欺電話
の生々しい内容も話さ
れました。



千代田区保護司会との意見交換会

第一ブロック保護司

組織運営連絡協議会

開催日 令和7年10月23日
場 所 銀座ブロッサム（中央会館）

令和7年度第一ブロック保護司組織運営
連絡協議会は、昨年に引き続き、協議事項
「社会を明るくする運動」について考え
る」をテーマに、各地区からの発表とグ
ループ協議を中心に進められました。開会
にあたり東京都保護司会連合会高山副会長
より趣旨説明がありました。

各地区保護司会内に於いてこの1年で工
夫をされたことを発表しました。

① 第75回に於ける新たな取り組み（活動

内容・時期・場所・資料等）

② 第75回に於ける取り組み実施結果（良

かった点／見直すべき点）

③ 運動の意義を各保護司会内において、

どのように共有・伝承しているか

④ 昨年度のブロック別協議会の結果を地

区保護司会内で共有するに当たり、工
夫した点

以上の4点について各地区からの発表と
グループに分かれて協議が行われました。
当地区では山崎保護司から内容を掘り下げ
たまとまりのある発表が行われました。各
グループでの話し合いも、和やかな中にも
非常に活発に討議が行われ、それぞれ今後
の地区活動にフィードバックされるものと
思われます。今回、幹事地区の皆様には、

その後、鎌田生活安全課長から、より詳
しい現状報告がありました。特殊詐欺被害
は管内だけでも約3億円の被害額が出てい
るそうです。特殊詐欺のリーフレットも配
られ、分からないことがあれば、生活安全
課に連絡をいただきたいとのことです。ま
た、スマホのアプリ「デジポリス」が令和
7年12月から国際電話ブロックの機能が加
わるので、ぜひご活用願いたいとお話が
ありました。その後、活発な意見交換がな
され、和やかな中にも充実した懇談会でし
た。

神田警察署との懇談会

開催日 令和7年11月26日
場 所 神田警察署

高柳 葉子

開会にあたり高橋警察署長より「社会を
明るくする運動」が、近隣小中学校と保護
司会と行政との連携で運動を広めることが
できたというお礼があり、今後も保護司会
と連携して少年非行の防止のために努めた
いと話されました。

保護司会会長から
会における保護観察
の現状報告がありま
した。

警察からは現時点
での犯罪の件数など
の報告と、警察官を
名乗る詐欺事件が増
えているので予防対



細部にわたる心配りを頂き誠に有り難うご
ざいました。
児童退席後には、万世橋警察署生活安全
課の正木課長よりネットリテラシーについ
てご説明があり、浅岡校長による講評を
もってミニ集会は閉会となりました。

区長との懇談会

開催日 令和7年12月22日
場 所 千代田区役所会議室

尾添 章子

今年も区長との懇談会を開催する機会を
持つことができました。

磯網主任官・清水部長・岡課長にもご出
席頂き、全員で写真撮影を行った後、全員
の顔が見えるように座り、自己紹介を行っ
て懇談会が始まりました。

予め提出していた3件と当日追加となっ
た2件について伺いました。

・発達障がいのある子どもへの成人以降の

継続的な支援につ

いて

・秋葉原の来訪者に

よるゴミ問題と夜

間の車やバイクの

爆音を立てての走

行の問題対策につ

いて

・小中学生のスマホ

の使用規制について

・フリースペースで

の安全対策について



策についての話ができました。
お茶の水小学校の伊藤校長からは児童生
徒が「社会を明るくする運動」に参加した
ことで、プラスバンドの日ごろの練習の成
果をお披露目できる機会になり、児童生徒
にとって励みになったそうです。

保護司会からは各保護司より現状報告と、
今年の宿泊研修先の東京都立萩山実務学校
での感想がありました。

「社会を明るくする運動」を通して、千代
田区は警察・学校・地域（保護司・行政）
の強い結びつきにより、安心安全な区になっ
ていると今年も感じました。

万世橋警察署との懇談会

開催日 令和7年11月5日
場 所 万世橋警察署

松川 京子

万世橋警察署と保護司会との懇談会が行
われました。生活安全課から3名、保護司
会から藤田会長他8名が参加しました。会
長の挨拶につづき、生活安全課正木課長か
らは、詐欺電話が昨年の2倍に増加してい
るとの報告がありま

した。クレジット会
社を名乗るメールや、
ネット販売の未払い
を装う連絡も多く、
安易に情報を信じな
いことが重要であり、
また振り込め詐欺は
1人で抱え込みがち
であるため、家族や

